

平成30年度 学 校 評 価 書

山形県立鶴岡南高等学校

達成度

A：目標をはるか大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重 点 目 標	達成度	成果 (○) と課題 (●)	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
教務課	SSH指定校としての教育課程の円滑な運用に努める。特に、研究開発校としての新しい学校設定科目における教材開発や評価方法を支援する。	C	○PTA参観・教育実習・一日体験入学等の授業公開の機会が多くあり、各教科での教材開発や授業研究が進んだ。 ●家庭学習が習慣化せずに成績低迷にある生徒がいる。不登校などの二次的な影響がでないよう指導や配慮が必要である。 ▲高校入試の処理方法が県一律に刷新されるが、万全を期して準備にあたる必要がある。	C ・入試の採点は、大変だろうが間違いのないようにお願いしたい。 ・SSHの取り組みが生徒も教員も活動的で良いと思った。 ・1年生のディベートは素晴らしかった。
	学年や教科、部活動と連携して、生徒にメリハリのある生活を送らせ、家庭学習を充実させる。また、課題の量と質について最適化を図る。	C		
	授業改善のために校内授業研究、授業評価、シラバス等の活用を図る。	C		
	成績処理、指導要録、入選処理等の電子化システムについて、安定運用のための改善を進める。	D		
	教務内規や改善が必要な業務の見直しを図るとともに、業務の精選を検討する。	D		
進路指導課	早期の進路希望確立を目的として、1, 2学年のうちから大学オープンキャンパスへの参加を積極的に勧める。特に、本校生の希望の多い大学については、年1回以上引率を伴う見学会を実施する。	C	○センター試験では、総合で県内2位、上位層も多く健闘してくれた。国公立の推薦でも8名(東北3名、山形2名、新潟1名、筑波2名)合格出来た。 ○キャリア教育の一環として、アカデミックインターンシップでは1,3年生対象に地元企業20社から企業説明を受け、東北公益大学の平尾先生から起業家精神を学ぶことができた。	C ・2020年度からの大学入学共通テストをにらんだ学習に取り組んでいる点も評価できる。 ・毎年上位に位置していることは素晴らしいと思います。 ・アカデミックインターンシップの取り組みにより地元企業の理解が深まったと思います。
	キャリア教育の視点に立ち、職業観の育成や将来専攻する学問分野の決定を目的として、社会人や大学教員を招いての講演会や模擬授業を年2回以上実施する。	C		
	超難関大学・医学部医学科10名以上、難関大学20名以上、国公立大学140名以上の合格達成に向けて取り組む。	C		
	SSH事業、進学指導重点校学力向上推進事業を効果的に進路指導に活用する。	C		
生徒指導課	日頃からの生徒指導とおし、“問題行動0、交通事故0、いじめ発生0”を目指す。	C	●大事には至らなかったものの交通事故の件数が多く、今まで以上に注意喚起が必要。 ○生徒会が中心となって円滑に学校行事が進められた。 ○アーチェリー部、美術部、科学部、少林寺拳法(設置外活動)が全国大会出場。アーチェリー部女子団体は東北新人大会で優勝。	C 事故の把握、いじめの把握が正しくできていることを期待します。
	生徒会行事において、全校生徒の8割以上が達成感をもてる内容を目指す。	C		
	ロングホームルーム活動計画に「自他の生命の尊重」「心の豊かさ」等の心の育成につながる内容またはボランティア的な企画を、年間1回以上組み込む。	C		
	部活動において全国大会へ団体3種目以上、個人5名以上の出場を目指す。	C		

達成度

A：目標をはるか大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重点目標	達成度	成果(○)と課題(●)	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
総務課	「PTAの日」をはじめとするPTA独自事業に、より多くの参加が得られるような工夫を行う。また、PTA役員とのより良い連携のあり方を研究する。	C	○「PTAの日」の参加者が371名(62.2%)で目標の6割を達成できた。また、保護者による朝のあいさつ運動などで成果をあげた。○災害時の連絡体制を「マメール」という民間企業に委託し、順調に運用されている ●保護者アンケートは75.5%の回収率で8割に達しなかった。 ○校内倫理委員会を2回開催し、倫理観・規範意識の涵養や資質の向上に努めた。	C ・PTAの日もアンケートも率として下がっているのが、原因を考えてください。 ・マメールを日常的情報手段として活用できないか。
	防災マニュアルの定着をはかり、より実効性のある危機管理体制の構築を目指す。緊急時における職員間及び生徒・保護者との連絡体制については、業者委託を継続し、未登録者の減少に努める。年2回の防災訓練により生徒教職員の危機管理意識の向上を図る。	C		
	学校評価のあり方(実施時期、分析方法、活用方法など)を検討し、8割以上の回収率を目指すとともに、校内反省会とのより効果的な連携のあり方を研究する。	D		
	年2回の校内倫理委員会を通じて教職員の倫理観・規範意識の涵養をはかる。	C		
保健課	産業医との連携を強化し、職員の健康障害の防止及び健康の保持増進に努める。	C	○産業医と連携し、職員の健康の保持増進に努めた。 ○インフルエンザや風邪の感染拡大を防ぐため、必要な措置を行った。 ○関係医療機関やスクールカウンセラーと連携しながら、該当生徒の支援を行った。 ○各分担区の清掃を確実に行うことができた。 ○保健だよりを確実に発行し、生徒に適切な情報を提供した。	C ・迅速な対応で、インフルエンザ感染の拡大を防げたと思います。
	感染症防止のため、必要な情報や対策を教職員や生徒に提供する。	C		
	MC委員会を適宜開催し、メンタルケアに努めるとともに、学校カウンセラーや教科・学年担任団・家庭との連携を図り、該当生徒に適切に対応できるようにする。	C		
	清掃活動を徹底し、学習環境を整える。特に夏季休業中は特別に分担区を指定し、校舎内の美化に努める。	C		
	「保健だより」を隔月発行し、生徒に健康情報を提供する。	C		
図書情報課	SSH・鶴南ゼミにおける図書・視聴覚教材・教具の効果的な活用を研究し、環境を整備する。	B	○ほかの図書館との連携も図りながら、ゼミからの要望にできる限り対応した。 ○図書館の貸し出し数が、前年比780冊増(12月末日現在)になった。 ○LHRの時間を活用し、夏季休業中に課題として各種コンテンツに応募できた。 ○職員の協力を得て、スムーズに運営ができた。 ○SSHの強力な協力により、多彩な活動を発信できた。 ○グループウェアを積極的に活用し、情報の共有が図られた	B ・今後もSSH、鶴南ゼミとの連携を大切にしたい。 ・子供たちに読んで欲しい本を、保護者にも知らせて欲しい。
	図書館の利用促進及び読書指導の研究を行い、本校の特性にあった運営を図る。	B		
	読書、図書館利用の習慣化を図るため、「LHR読書の時間」や「コンテストへの応募」などを実施する。			
	鶴岡南高校の情報セキュリティポリシーの周知と啓蒙を行う。	C		
	学校ホームページの更新をより活発にし、SSHなどの活動を積極的に発信する。	C		
	グループウェアの使い方・デザインなどを研究し、職員相互の情報共有を図る。	C		
事務部	校内における事故防止のため、保健課との連携を図る。年8回以上の合同安全点検を実施する。	C	○安全点検を毎月実施し、問題箇所については速やかに対応して、施設・設備の保全と安全確保に努めた。 ○今年度入学生からのカリキュラム変更や入試対策もあり使用増を想定はしていたものの紙の使用量がマイナス2%となりほぼ達成。裏紙使用の拡大が課題。 ●電力使用量は、前年比マイナスは達成できる見込みであるが、前年度に引き続き3%減は猛暑により困難。	C
	光熱水・用紙類の使用量は、対前年度使用量の維持に努める。特に、電力使用量については前年度比マイナス3%を目標とする。	C		

成度

A：目標をはるかに大きく超えている。 B：目標を超えている。 C：目標を概ね超えている。 D：目標を下回っている。 E：目標達成に遠く及ばない。

領域	重点目標	達成度	成果(○)と課題(●)	学校関係者評価委員の評価・意見・要望
1 学 年	SSHの趣旨に沿い、「鶴南ゼミ基礎」への興味関心を高めるとともに、「探究的な学び」へ意欲的に取り組む態度を育成する。	C	○「鶴南ゼミ基礎」を通じて、調査方法や効果的な発表法等についての基礎的な知識を獲得した。 ●頑張って学校生活を送った生徒も多かったが、心身の健康がすぐれない生徒が複数いた為、全体の出席率は目標を下回った。長期欠席により、出席上の特別な配慮をしていただいたり、単位未修得の科目がある生徒がいた。 ●家庭学習時間は、3時間は超えなかった。 ○進研模試の3教科全国偏差値は、7月は58.9、11月は60.1であった。数学は高いレベルで安定した成績であったが、英語の向上が課題である。	C ・メンタル面のサポートは大変だと思うが、指導は手を抜かず卒業までつなぐことを生徒に伝えて欲しい。 ・新年度へ向けPTAとの連携をはかり、生活習慣などの見直しを呼びかけてはどうでしょうか。
	出席率99%以上を目指す。	D		
	単位未修得、長期欠席、いじめ「0」を目指す。	D		
	学年PTAの出席率70%以上を目指す。	C		
	部活動加入率90%以上を目指す。	C		
	学習の質(学習方法の確立)と量(授業以外の学習時間3時間)の向上を目指す。	D		
	模擬試験における全体平均偏差値60以上を目指す。	C		
2 学 年	鶴南ゼミで探究する力を高めるとともに、各発表会でその成果をプレゼンテーションできる力を養う。	C	○鶴南ゼミでの成果を中間発表、台湾進路研修での交流、各種発表会、イベント開催等で協力しながら、成果を示してくれた。 ○11月進研での偏差値では、目標とする偏差値を上回る結果を残した教科もあったが、まだまだ取り組みの甘い教科もあり、今後、指導していきたい。 ●進路希望調査や模試での志望校の記入内容で、一応の志望を把握できたが、実際の学力と大きな開きがある生徒が少なくない。また、1年次より、ほぼ同じ生徒が複数の苦手教科を克服できないでいる。現実を認識させつつも、希望を達成できるよう、粘り強く指導していきたい。 ●学習の目的を明確にさせることができず休学者を出してしまった。また、様々な悩みを抱えている生徒が少なくないため、今後も生徒の些細な変化を見逃さず、職員間での情報共有を行い、支援していきたい。	C ・鶴南ゼミの質が年々向上しており、その取り組みによる生徒の成長が著しいと感じる。 ・学習指導が多岐にわたるので、個々へのバランスが難しいと思いますが、教員も無理せず、力を合わせて向かって欲しい。鶴南ゼミの発表は素晴らしかったと思います。
	進路研修(台湾)を通じて異文化理解を深め、英語でのプレゼン力を高めさせる。	C		
	全員が全ての単位を修得し進級することを目指す。	C		
	心身を健全に育み、出席率99%以上を目指す。	C		
	学年PTA出席率70%以上、クラスPTAの出席率50%以上を目指す。	D		
	具体的な進路目標の設定とその実現に向けて主体的な学習を促し、学習の質(方法・徹底度)と量(3時間以上)の向上を目指す。	D		
	模擬試験における各教科の平均偏差値60以上を目指す。	C		

3 学 年	SSHで培った個々の能力を生かし、進路実現を目指す。	C	<p>○上位層は個々の目標を明確に定め、意欲的な学習に取り組むことができた。3年に入り成績を伸ばした生徒も多く、探究活動の経験が成果に現れた。</p> <p>○模試の結果が大きく伸びたわけではないが、日頃の学習意欲の向上が見られ、苦手であった英語の成績が伸びを見せてくれた。</p> <p>○センター試験では県内2位の成績を残すことができた。成績に不安のある学年であったが、先生方の指導をいただき、伸ばしていただいた。</p> <p>○一部不登校の生徒が出現したが、その他の生徒は健康管理が図られ、高い出席率を維持することができた。</p> <p>○学年PTAの出席率は目標を達成できなかったが、学級PTAを含め、保護者との連携は良好に保つことができた。</p> <p>●2学期末テストで不正行為があった。日頃の指導は行っていたが、徹底できなかった。多くの方々に支援をいただき、感謝申しあげたい。</p>	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康管理 ・不正行為について驚きですが、本人の気持ち下がらないような指導をしてください。
	全員が評定平均値を上げられるよう、毎日の授業に懸命に取り組む。	C		
	質を重視した主体的な学習を促し、第一志望合格75%以上を目指す。	C		
	模擬試験における各教科科目の平均点偏差値62以上を目指す。	C		
	学校行事、部活動にも全力で取り組み、リーダーとしての質を高めさせる。	C		
	心身の健康に留意し、出席率99%以上を目指す。	B		
	学年PTAの出席率75%以上を目指す。	D		